

平成26年度

熊本県学力調査  
「ゆうチャレンジ」

小学校 第5学年 国語

- 問題は 1 ～ 4 で、8 ページまであります。
- 1 は、放送による問題です。放送が終わるまで、問題を開いてはいけません。
- 答えは、問題用紙の「解答らん」に書いてください。

年 組 番	
名 前	

熊本県教育委員会

①

今聞きとったことをもとに、次の問題に答えましょう。

- (1) 明子さんの学級の討論会とうろんの議題は何でしたか。次の□に書きましょう。

①

には、新聞がよいか、インターネットがよいか。

- (2) 討論会で司会者が工夫していたことは、どんなことですか。最もふさわしいものを次のア～エから一つ選んで、記号で答えましょう。

ア 自分の考えや思っていることを中心に話している。  
イ 話し合いの方向がそれたら、元にもどしている。  
ウ 話し合いの方向をはっきりさせて進めている。  
エ 分かりにくいと思ったら、自分から質問している。

②

- (3) 討論会で司会者は次のようなメモをとりました。インターネットグループは、インターネットにはどんなよさがあると話していましたか。【司会者のメモ】の中の□にインターネットのよさを書きましょう。

【司会者のメモ】

【新聞のよさ】 … ⑦ 重要なできごとが一目で分かる。

- ② 記事がくわしく書いてあるので分かりやすい。

【インターネットのよさ】 … ⑦

③

- ② 自分が知りたいときにいつでも調べることができる。

(4) 討論会では、このあとインターネットグループへの質問になります。あなたが新聞グループの一員だとしたら、どんな質問をしますか。次の書き出しの文に続けて、あなたが考えた質問を実際に話すように書きましょう。



インターネットグループの主張に対して、質問があります。

⑤

④

2

次の問題に答えましょう。

(1) 次の文の――線の漢字の読みがなを書きましょう。

① 勢いよく走る。

い

⑥

② 本に興き味をもつ。

⑦

③ ようやく発はつ芽する。

⑧

④ 寄よ付をつのる。

⑨

⑤ 発表の場を設しける。

ける

⑩

(2) 次の――線のひらがなを漢字に直しましょう。

① バスでいいどうする。

⑪

② 魚をやいいて食べる。

いて

⑫

③ ふくくざつな問題。

⑬

④ 結果をほうくくする。

⑭

⑤ ふたたび出で会あう。

び

⑮

(3) 和男かずおさんは、「話かたがははずむ」という慣用句の意味と使い方を、次のようにカードに書いています。

に入る意味とし

て最もふさわしいものを、下のア～エから一つ選んで、記号で答えましょう。

話かたがははずむ

◆意味……

◆使い方……友達とひさしぶりに会い、話かたがははずむ。

ア 相手が内容を理解し、短い時間で結論ろんが出る。

イ 話のやりとりが、次から次へと調子よく続く。

ウ 物事の事情やすじ道、理由について理解がある。

エ 話し合いや相談がまとまって、物事が解決する。

⑯

- (4) 次の文を二つの内容に分けて書き直します。つなぎ言葉には、「しかし」を使います。一つ目の文の終わりの五文字と二つ目の文の「しかし、」に続く五文字を書きましよう。

わたしは、マラソンの練習があまりできなくて不安だったが、大会ではゴールまで走ることができた。

わたしは、		。	しかし、		く	できた。
	-----			-----		
	-----			-----		
	-----			-----		
	-----			-----		

※ それぞれの文の途中の言葉は省略しています。

- (5) 次の俳句を声に出してよみます。五・七・五の十七音の言葉のリズムを感じ取ることができるよう、(例)にならつて、あとの  の中の俳句に横線(一)を書き入れましよう。

(例) 雪とけて一村いつぱいの一子どもかな (小林一茶)

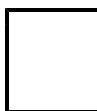
菜の花や月は東に日は西に (与謝蕪村)

⑱

- (6) 次は、和男さんが毛筆で書いた下書きです。これから清書をするときに、どのようなことに気を付けて書き直したらよいでしょうか。最もふさわしいものを次のア～エから一つ選んで、記号で答えましよう。



- ア 紙の中心に行の中心をそろえて書く。  
イ 行の中心に文字の中心をそろえて書く。  
ウ ひらがなと漢字の大きさをそろえて書く。  
エ 上下左右の余白、字間をそろえて書く。



⑲

和男さんの学級では、熊本県に關係のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介することになりました。和男さんは、明治時代に五高（現在の熊本大学）の教師として熊本で三年間をすごした小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の伝記を読んでいます。次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

八雲はある日、とこ屋に行きました。店は古くてそまつでしたが、そのとこ屋にひげをそってもらったところ、カミソリのそりごちが、じつによいのです。八雲はつい、うとうとしてしまいました。そこで八雲はとこ屋のあるじに、

「わたしのこのナイフをといでもらえないだろうか。」

と、たのんだところ、

「\*ようがすとも。」

あるじは、と石でナイフをときあげて、

「へい、どうぞ。」

と、八雲にわたしてよしました。

八雲が家に帰ってナイフの切れ味をためしてみると、うすい紙でもスーツと切れます。

すばらしい切れ味です。八雲は家においている学生のひとりに五十銭<sup>\*せん</sup>わたしたのみました。

「これを、ナイフのとき賃<sup>ちん</sup>として、とこ屋のあるじにとどけてきてもらいたい。」

「はい、ではすぐに行つてまいります。」

学生はとこ屋へ行つて、まもなく帰つてきました。そして、八雲に三十銭返したのです。

「これはなんだね？」

「先生、いくらなんでもナイフ一ちようのとき賃に五十銭は多すぎます。五銭でも多いくらいです。しかし、せつかくです

から、二十銭にふんぱつして、三十銭は持ち帰りました。」

すると、いつもおだやかで、おこったことなどない八雲が、顔色をかえてまゆをつりあげました。そして、

「なにを言うのだ。たしかにとき賃としては多すぎるが、このお金は単なるとき賃ではない。あのあるじのすぐれたうで前

に対するお札なのだ。うやまいの気持ちをこめての五十銭なのだよ。きみにはそれがわからないのか。はやく、全部わたし

てきなさい。」

そう言つたのです。学生は自分の考えが浅かつたことをはじて、ふたたびとこ屋へ走つていったそうです。

\*ようがすとも：「いいですとも」の方言。

\*と石：刃物をとぐのに使う石。

\*銭：明治時代のお金の単位。一銭は一元の百分の一。当時の五十銭は、現在の一万円ぐらい。



\*とき賃：ナイフなどをとぐ仕事に対する代金。

\*うやまい：相手をりっぱだと思いう気持ち。

(1) — 線①「まゆをつりあげました」とありますが、八雲がまゆをつりあげた理由は何でしょうか。最もふさわしいものを

次のア～エから一つ選んで、記号で答えましょう。

ア とこ屋から帰ってきた学生が、八雲に言い返したから。

イ 学生が自分で判断して三十銭を持ち帰ってきたから。

ウ とこ屋のあるじがといたナイフの切れ味が悪かったから。

エ とこ屋のあるじへのナイフのとき賃が高すぎたから。

☐

㉑

(2) — 線②「自分の考えが浅かった」とありますが、この学生は八雲の話聞いて、どんなことに気づいたのでしょうか。

次の文の続きを考えて  に書きましょう。

○ 学生は、五十銭を単なるナイフのとき賃と考えていたが、八雲の話聞いて、

㉒ に気づいた。

(3) 和男さんは、この文章を読んで、小泉八雲の人がらや考え方について感じたことを学級の人みんなに発表します。あなたな

ら、どのように発表しますか。前のページの文章をもとに、次の  中の書き出しの言葉に続けて書いてみましょう。

小泉八雲という人は、

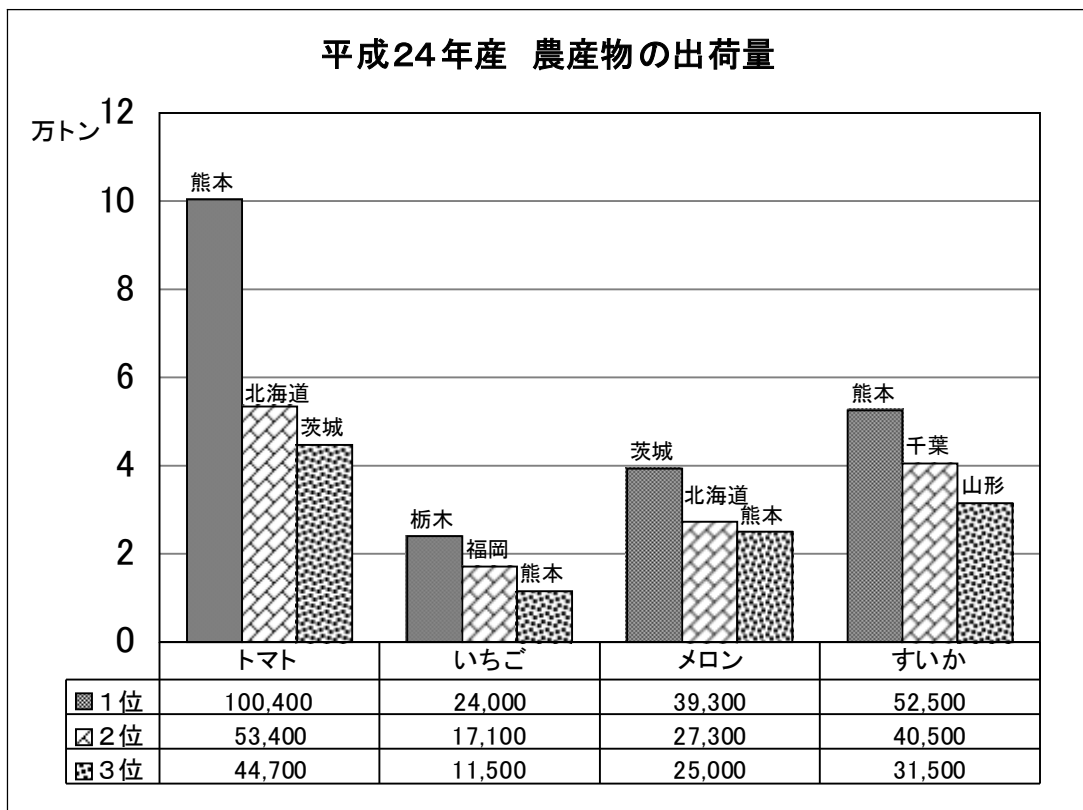
--	--	--

㉓

㉔

明子さんの学級では、社会科の学習で熊本県の農産物について調べています。明子さんは、次の資料を活用して、熊本県で出荷量が多い農産物についてまとめ、学級の人々に説明したいと考えています。あとの問題に答えましょう。

## 【資料１】



平成24年産野菜生産出荷統計（農林水産省）から

## 【資料２】

### 熊本は日本一のトマト王国

- 出荷量、堂々の全国第1位  
平成5年から20年間、首位をキープ。
- 都会でも大人気  
12月～2月の冬の時期、首都圏で流通するトマトの約4割が熊本産。
- 季節によって切り替わる産地  
熊本は気候や地形に恵まれているので、一年中トマト栽培が可能。  
 ・7月～11月…夏秋トマト（阿蘇市や山都町が主な産地）  
 ・12月～6月…冬春トマト（八代市や玉名市が主な産地）
- 清らかな水で育ったトマトは、全国に自慢できる熊本の宝。

<熊本県のトマト出荷量>

平成元年	52,854トン	2位
平成5年	61,700トン	1位
平成15年	81,200トン	1位
平成25年	114,600トン	1位





(1) 明子さんは、【資料1】のグラフから分かったことを次のような文にまとめました。の中にはどのような言葉が入りますか。ふさわしい言葉を書きましよう。

○ 熊本県のトマトの出荷量は約十万吨であり、二位の北海道を大きく

<sup>②④</sup> ことが分かる。

(2) 明子さんは、【資料1】を見て、熊本県が全国一位であるトマトとすいかの出荷量のちがいについて、次のようにまとめました。の中にはどのような内容が入りますか。「トマト」と「すいか」の二つの言葉を用いて書きましよう。

○ 熊本県のトマトとすいかの出荷量を比べると、

<sup>②⑤</sup> である。

(3) 明子さんは、【資料1】と【資料2】を活用して、熊本県のトマトの出荷量の多さについて文章にまとめることにしました。あなたも、次の【書き方】にしたがって文章にまとめてみましょう。

【書き方】 ・二段落<sup>だんぱく</sup>に分け、一段落目に【資料1】から分かること、二段落目に【資料2】から分かることを書くこと。  
・漢字や言葉づかいのまちがいがないように気を付けて書くこと。

--	--	--	--

②⑧

②⑦

②⑥

これで、問題は終わります。